国道10号 住吉道路

第1回 説明資料

平成27年3月10日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

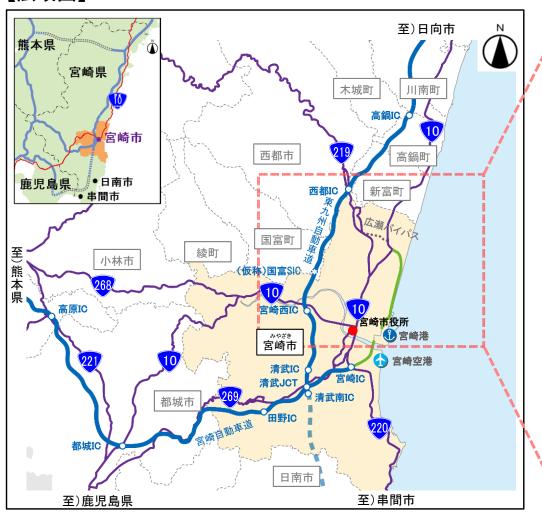
1.	評価対象地域	• • •	2
2.	計画段階評価手続きの進め方(案)		4
3.	地域特性と周辺環境		6
4.	沿線自治体等への意見聴取方法	•••1	4

1. 評価対象地域

1. 評価対象地域

- ○宮崎市は空港、港湾及び高速道路・国道など、多くの交通網が集中している
- 〇評価対象地域は、宮崎市北部に位置し、県を縦貫する国道10号と県中央部を横断する国道219号が 分岐・合流する道路交通網の結節点を有する地域

【広域図】



【拡大図】(評価対象地域)



2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【平成27年3月10日】

【第1回】 九州地方小委員会 【審議事項】 ◆計画段階評価 手続きの 進め方(案) ◆地域特性と周辺 環境 ◆沿線自治体等へ の意見聴取方法

地域の 意見聴取

◆意見聴取内容

○評価対象地域における まちづくりビジョン

◆意見聴取方法 《ヒアリング、

オープンハウス》 対象者: 沿線周辺

自治体

評価対象地域 の住民

九州地方小委員会

【審議事項】

- ◆沿線自治体等か ら聴取した意見 内容の確認
- ◆地域の有する 現状と 課題
- ◆道路・交通の現状 と課題
- ◆政策目標(案)
- ◆地域の意見聴取 方法

地域の 意見聴取

◆意見聴取内容

- ○地域の有する現状 と課題
- 〇政策目標(案)

◆意見聴取方法 《ヒアリング、

オープンハウス アンケート》 対象者: 沿線周辺

自治体 団体代表者

地域住民 企業等

九州地方小委員会

【審議事項】

- ◆地域から聴取した 意見内容の確認
- ◆政策目標の設定
- ◆対応方針(複数案) の設定
- ◆評価項目の設定
- ◆地域の意見聴取 方法

地域の 意見聴取

◆意見聴取内容

〇対応方針(複数案) 検討に係る重視 すべき項目

◆意見聴取方法 《ヒアリング、

オープンハウス、 アンケート》

対象者: 沿線周辺

自治体 団体代表者 地域住民 企業等

九州地方 小委員会

【審議事項】

- ◆地域から聴取 した意見内容 の確認
- ◆対応方針(案) の検討

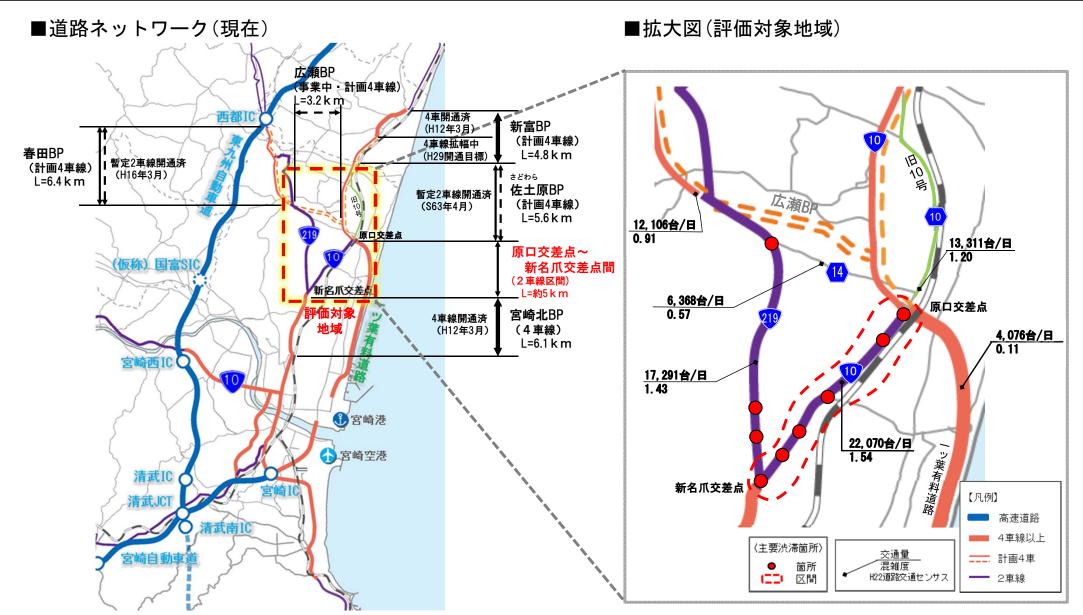
対応方針 (案) の 決定 (概略 ル 構造)

地方小委員会

3. 地域特性と周辺環境

3. 地域特性と周辺環境(評価対象地域周辺のネットワーク)

- ○評価対象地域周辺のネットワークにおいては、バイパス整備が進捗している状況
- ○国道10号の原口交差点~新名爪交差点間が唯一の2車線区間
- ○当該2車線区間は混雑度が1.5を超えており、主要渋滞区間に選定



3. 地域特性と周辺環境〈暮らし〉

- ○国道10号沿線においては、大部分が市街化区域に指定されている
- ○評価対象地域には通学区域が広がっており、国道10号、国道219号、その他道路を利用し通学している
- ○<u>宮崎市都市計画マスタープラン(H25.3)</u>では、既存ストックの有効活用と新たな都市機能の郊外立地抑制や都市機能集約と都市軸の 強化等の方向性に基づき、中心部や拠点間を結ぶ<u>南北基幹交通軸として国道10号</u>が位置づけられると共に、<u>対象地域南部が生活・</u> 住居拠点、北部が地域拠点として位置づけられている



(※通学区域は、必ずしも一致するものではありません。)

概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域

出典:宮崎市都市計画マスタープランでの位置付けを図化

3. 地域特性と周辺環境〈産業〉

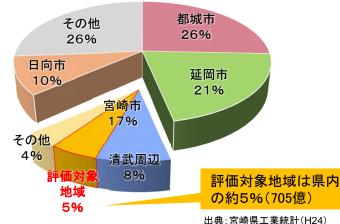
- 〇宮崎県内の<u>工業団地の多くは高速道路、港、空港周辺に多く点在</u>しており、<u>評価対象地域の製造品出荷額</u>は<u>県内の約5%</u> 〇評価対象地域には、<u>宮崎テクノリサーチパーク</u>、<u>佐土原中央工業団地</u>、<u>石崎工業団地</u>が立地している
- ○<u>宮崎市都市計画マスタープラン(H25.3)</u>では、<u>宮崎テクノリサーチパーク周辺</u>が、宮崎市の経済的発展や雇用の確保等を 牽引する物流·工業拠点として位置づけられている

■宮崎県の工業団地



※大きさは敷地の総面積 出典:宮崎県HP

■製造品出荷額 (宮崎県)



出典: 宮崎市工業統計(H24)

■住吉地区の工業団地概要

宮崎テクノリサーチパーク

·敷地面積:37万㎡ ·分譲開始:H8年

主な企業:研究開発関係

•企業数:17企業



佐土原中央工業団地 石崎工業団地

·敷地面積:18万㎡

·分譲開始:H5年 • 主な企業: 食品関係

•企業数:6企業

·敷地面積:6万㎡

·分譲開始:H21年

・主な企業:農工業関係

・企業数:6企業

■宮崎市の工業団地位置図



工業団地位置:宮崎市IPにて位置づけられている工業団地

※清武周辺:宮崎市都市計画マスタープランで位置づけられている清武地域

3. 地域特性と周辺環境〈観光〉

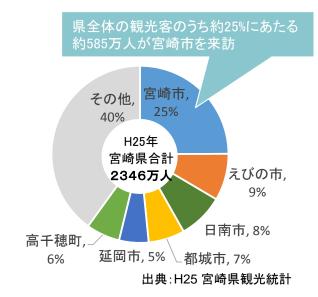
- 〇宮崎県内の<u>主要な観光地は県南部に多く分布</u>しており、県全体の観光客のうち<u>約25%が宮崎市</u>を来訪している
- ○宮崎市内の<u>観光地への移動手段</u>の多くは<u>マイカーやバス</u>を利用されている
- ○評価対象地域周辺には<u>海岸沿い(一ツ葉有料道路周辺)等に観光施設が点在</u>している
- ○<u>宮崎市都市計画マスタープラン(H25.3)</u>では、<u>一ツ葉地区</u>が世界に開かれた<u>観光・リゾート拠点</u>として位置づけられている

■宮崎県の主要観光施設

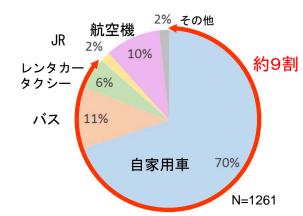
BORE ルストピア延岡 1.000.000 人以上 500,000 人~ 1,000,000 人以上 500,000 人未満 かどがわ温泉 心の杜 資料: 図説 九州経済2015 道の駅とうごう 平成25年 宮崎県観光入込客統計調査 能本県 道の駅日向 物産館 評価対象地域 西都原古墳群 京町温泉の 宮崎市フェニックス 自然動物園 フローランテ宮崎 えびの高原 宮崎神宮 高千穂牧場 県立平和台公園 青島神社 道の駅フェニックス 参考:青島神社 霧島ファクトリーガーデン 91万人 かかしの里「ゆぼっぽ

※主要観光施設: H25宮崎県観光入込客統計調査(利用客上位20位までの施設、 写真: 宮崎市観光協会HP

■宮崎県の観光入り込み客



■宮崎市内観光時の移動手段



出典:宮崎市観光客アンケート調査(H24年度宮崎市調査)

■宮崎市北部地域の主要観光施設



出典: H25 宮崎市観光統計(施設別利用者数が示されている施設) 写真: 宮崎市観光協会HP

3. 地域特性と周辺環境〈医療〉

- 〇<u>宮崎県の第3次救急医療施設</u>は3箇所あり、うち<u>2箇所は宮崎市中心部に位置</u>するなど、評価対象地域における<u>高度医療サービス</u> <u>は宮崎市中心部の施設を利用</u>している
- ○<u>宮崎市都市計画マスタープラン(H25.3)</u>では、宮崎市中心部に位置する<u>宮崎県立宮崎病院周辺</u>が高度医療を提供する拠点として 学術・医療拠点に位置づけられている
- ■宮崎県の第3次救急医療施設の位置と 第2次救急医療圏域



出典:宮崎県医療計画(H25.3)

※第2次救急医療圏域:入院治療を要するような比較的専門性の高い医療が概ね完結

できる体制づくりを目指す地域区分

■宮崎市の第3次・第2次救急医療施設と救急小隊位置図



※第3次救急医療施設、第2次救急医療施設:宮崎県医療計画にて示されている施設 ※救急小隊:救急自動車及び救急機械器具を運用し、救急活動を主たる任務とする隊

3. 地域特性と周辺環境(防災)

- ○<u>東海岸沿い</u>は東南海・南海沖地震の発生時に想定される<u>津波浸水域</u>となっており、浸水エリアにある評価対象地域北部から防災拠点 である宮崎市への<u>緊急避難時には国道10号を利用</u>する可能性が高い 〇また、<u>インターチェンジ周辺や評価対象地域北西部</u>では、被災した際の受援、救援・救護等、<u>後方支援機能の強化を図る地域</u>で
- あり、評価対象地域を縦貫する道路ネットワークを活用した復旧支援活動が行われることが予想される

■津波浸水域および緊急交通路の位置づけ



▲避難の困難が予測される地区の一つ浸水区域 (一ッ瀬川河口周辺:佐土原地区)

出典:宮崎市地震津波対策インフラ構想(H25.10)

緊急交通路

①最優先道路: _____

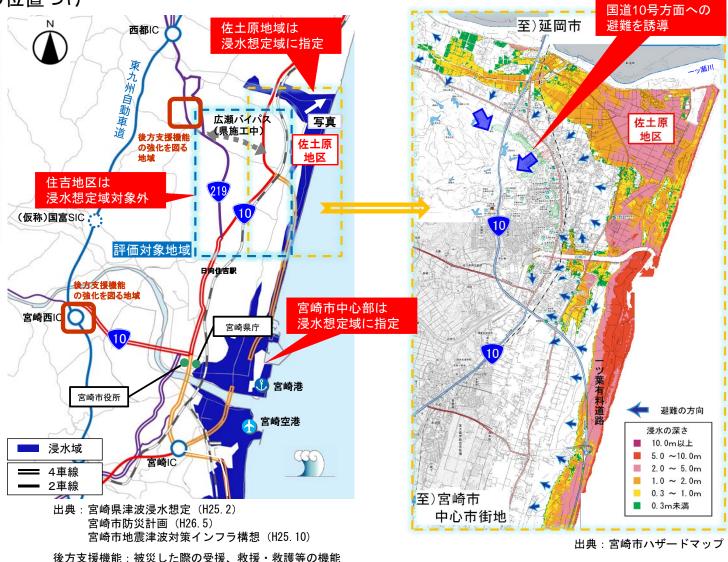
国道10号、宮崎自動車道

②優先道路:-

国道220号、一ツ葉有料道路

資料: 宮崎市地域防災計画(H26.05)

※緊急交通路とは、被災者の避難路の確保、傷病者の 搬送、救急・救護活動、救急物資輸送等に要する緊急 輸送車両の通行を確保するため、県公安委員会で指定 された路線



3. 地域特性と周辺環境〈まとめ〉

主な地域特性と周辺環境

暮らし

- 〇国道10号沿線は、大部分が市街化区域に指定
- ○評価対象地域には通学区域が広がっている

- ○国道10号は中核拠点と地域拠点を連絡する南北交通基幹軸
- 〇対象地域南部は生活・住宅拠点
- ○評価対象地域北部は地域拠点

産業

- ○県内の工業団地の多くは高速道路、港、空港周辺に多く点在
- 〇対象地域の製造品出荷額は県内の約5%
- ○対象地域には、複数の工業団地が立地

○宮崎テクノリサーチパーク周辺は物流・工業拠点として位置づけ

観光

- 〇宮崎県内の主要な観光地は県南部に多く分布
- 〇県全体の観光客のうち約25%が宮崎市を来訪
- ○宮崎市内の観光地への移動手段の多くはマイカーやバス
- 〇観光施設が点在する海岸沿い(一ツ葉有料道路周辺)が観光・リゾート拠点 として位置づけ

医療

- 〇県の第3次救急医療施設の多くは宮崎市中心部に位置
- ○対象地域における高度医療サービスは市中心部の施設を利用
- ○宮崎市中心部に位置する宮崎県立宮崎病院周辺は高度医療を提供する 学術・医療拠点に位置づけ

防災

- ○東海岸沿いは東南海・南海沖地震発生時の津波想定浸水域
- 〇防災拠点への緊急避難には国道10号を利用する可能性が高い
- OIC周辺や対象地域北西部は、被災した際の受援、救援・救護等、後方支援機能の強化を図る地域
- 〇対象地域を縦貫する道路ネットワークを活用した復旧支援活動が予想

4. 沿線自治体等への意見聴取方法

4. 沿線自治体等への意見聴取方法

1. 意見聴取の基本方針

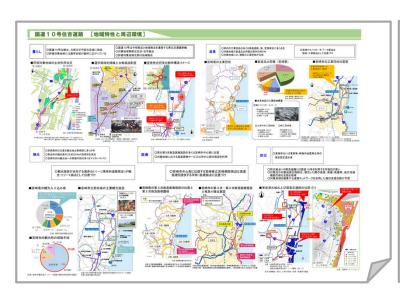
評価対象地域におけるまちづくりビジョンに対する意見を伺う

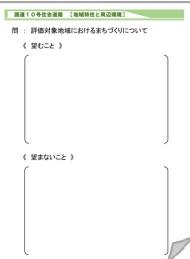
2. 意見聴取の対象

- •沿線周辺自治体(宮崎県, 宮崎市, 西都市, 新富町)
- 評価対象地域の住民

3. 意見聴取の内容

評価対象地域におけるまちづくりについて





意見聴取シートイメージ

